

連合気仙第30回年次大会



次の飛躍へ 確かな一歩を



No. 127

【2018.12.25】

連合岩手気仙地域協議会
大船渡市猪川町前田 9-17
TEL 0192-27-8671
FAX 0192-47-3471
http://www.rengo-iwate.jp/

発行責任者：梅木 博
編集責任者：星 正和

連合 労働相談 ホットライン
0120-154-052

雇用の不安
雇い止めの不安はありませんか？

連合気仙 2019 新春旗びらき

日時：1月16日(水)
18時30分から

場所：アーバン大船渡

2019年の年頭にあたり、地協役員と構成単組、来賓の皆さまが一堂に会して決意を固めます。

※バスを運行しますのでお知らせください。

※**愛のカンパ**ご協力をお願いします。

皆さん まってま〜す



大会議長団にUAゼンセン小林明子代議員、私鉄総連川畑勝明代議員を選出した後、執行部を代表して梅木議長が挨拶で「震災復興も終盤となり、その先を見据えた不安や課題の解決と、今年は重要な選挙が続く、全単組が一丸となり戦おう」と訴えた。

続いて、ご臨席いただいた来賓の方々を紹介し、八幡連合岩手会長、田村誠県議会議長、畑元衆議院議員からご祝辞をいただき、メッセージを紹介した。活動経過、会計決算・会計監査報告を確認し、星事務局次長から運動方針(案)、一般会計予算(案)の提案を受けて承認し、役員変更(案)事務局長一及川学、幹事一中村真悟を確認した。

大会アピール(案)「：参議院選挙、統一自治体選挙が重なる年であり、(中略)：安倍



一強政治を終結させ(中略)：推薦する全候補者の勝利に向け、連合気仙・構成単組の総力をあげてたたかう！次の飛躍へ確かな一歩を踏み出そう！」を採択した。

最後に、梅木議長の話にハロ〜で大会を閉じた。

十二月一日、連合気仙青年委員会は、気仙教育会館において、第一三回年次総会を三産別単組の代議員の参加の基で開催した。

大会議長団には、UAゼンセン今野一洋代議員、JEC連合小松大輝代議員を選出、執行部を代表して大畑委員長は、「少しずつ活動を広げてきている今年度を振り返るとともに、次年度は役員の交代に伴う各単組の協力をお願いする。幹事会は青年の豊かな感性と行動力を活かして精力的に取り組みたい」と挨拶した。

及川事務局次長は、破天荒プロジェクトやRENGO環境フォーラム、愛のカンパ活動などの活動報告を提起、第一号議案では、①環境保全活動、国民運動・政治活動への参加、②学びの機会とする講演会や体験イベントの企画、③青年組織つくりとレク企画、④連合地協活動への参加などを提起して確認された。新旧役員の挨拶を受け、左々

十二月一日、連合気仙青年委員会は、気仙教育会館において、第一三回年次総会を三産別単組の代議員の参加の基で開催した。

大会議長団には、UAゼンセン今野一洋代議員、JEC連合小松大輝代議員を選出、執行部を代表して大畑委員長は、「少しずつ活動を広げてきている今年度を振り返るとともに、次年度は役員の交代に伴う各単組の協力をお願いする。幹事会は青年の豊かな感性と行動力を活かして精力的に取り組みたい」と挨拶した。

及川事務局次長は、破天荒プロジェクトやRENGO環境フォーラム、愛のカンパ活動などの活動報告を提起、第一号議案では、①環境保全活動、国民運動・政治活動への参加、②学びの機会とする講演会や体験イベントの企画、③青年組織つくりとレク企画、④連合地協活動への参加などを提起して確認された。新旧役員の挨拶を受け、左々

青年委員第一三回年次総会

青年の豊かな感性と行動力

木新委員長の話にハロ〜で総会を閉めた。

第二号議案の役員変更で確認した役員は以下の通り

委員長 佐々木純理(三采工業労組)

事務局次長 村上 稜(東北電力労組)



有権者数：31,536人 投票率：73.91%
前回投票率：67.34%

【開票結果】

投票者総数	23,307 票
戸田公明	12,074 票
藤原良信	11,052 票
無効投票	181 票

11月25日に投開票された大船渡市長選挙は、労働6団体が政策協定を交わした「戸田公明氏」が接戦を制して当選、3期目の市政をスタートさせた。

この間、気仙地区の労働3団体は、総合選対を設置し、後援会会報の地域配布や推薦候補の周知・紹介者集約、ポスター張りなど精力的な活動をした。

ありがとうございました

連合気仙 2019 政策・制度要求と提言



12月7日、連合気仙「2019政策・制度要求と提言」をまとめ、友好議員の協力をいただきながら、東日本大震災からの復興や産業振興など8項目35課題を大船渡市に提出して意見交換を実施した。

意見交換は、①復興に向けた財政負担を軽減させるため、復興関連交付金の期限の延長の国や県への要請、②入管難民法の捉え方と労働環境の改善、③学校配分予算の検証、学校統廃合の現状と廃校となる校舎の利活用、バスによる登下校の課題などを行った。

今年も終わりがあふ、聞き飽きた台詞かもしれないが、思ったからには言わずにはいられません(笑)

一月二日の漢字の日、関東の大雪に始まり、各地で地震や豪雨など多くの災害があったことから二〇一八年の一字は「災」。皆さんにとって今年はどうな一年だったでしょうか？楽しかった？大変だった？もちろん、三六五日もあれば悲喜こもこもあったと思います。

そんな時、一通り思い返したと「今年も良い一年だった」と強引にでも締めくくることで、言った者勝ちしちゃうことをオススメします！

言った者勝ちという言葉はあまりいい意味で使われませんが、自身の、ひいては過去のこととなれば、誰に迷惑をかけることもありません。

明るい話題よりも暗いニュースに触れることが多い今日、前を向いて生きていくためにも、まずは自身のことを良い方に捉えることで気持ちを切り替えて、未来もきっと良くなっていく。良くしていく！とポジティブ思考で歩んでいきましょう！

未来といえば、あと数日で新年を迎えます。五月には年号が：なんて話をしようと思っていました。鬼に笑われそうなのでやめます。皆さんが健やかで、幸多き一年になりますように！学・〇

